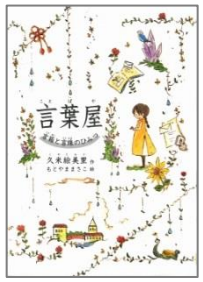
言葉屋

久米絵美里/作　朝日学生新聞社　K913 ク



物語

「言葉屋があつかっているのはね、言葉を口にする勇気と、口にしない勇気だよ」
詠子のおばあちゃんの家は、坂の上の小さな雑貨屋さん。その中にある工房には「入ってはいけないよ」と言われていたけれど、詠子はおばあちゃんのもう１つの仕事・言葉屋に興味津々。ある日とうとう、うそをついて工房のとびらを開けてしまいました…。

よみがえる二百年前のピアノ

佐和みずえ/著　くもん出版　K763 サ

知識

美しい音を奏でるピアノ。その技術は日々進化しており、今と二百年前とではまったく別の楽器だともいわれています。でも二百年前のピアノはボロボロになってしまっていて、私たちはその音を聴くことができません。そんなピアノを二百年前の姿に戻すピアノ修復家・松尾淳さんの半生と、ピアノ修復の様子を紹介します。

★2015 年のおすすめ

『でっかいでっかいモヤモヤ袋』（Ｅ黄緑）
『本田宗一郎』（Ｋ289 ホ）
『ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。』（Ｋ373 ユ）
『東京駅をつくった男』（Ｋ523 オ）
『妖怪の弟はじめました』（Ｋ913 イ）
『ゆきとどいた生活』（Ｋ913 ホ）
『それぞれの旅』（K913 ヤ）
『風船教室』（K913 ヤ）
『おいでフレック、ぼくのところに』（K933 イ）
『ちいさくなったパパ』（K943 ス）

読みたい本が貸出中のときは
予約することができます。
詳しくはスタッフまで☆

学年別おすすめ 2016

5・6 年生

津島市立図書館

青い鳥文庫ができるまで

岩貞るみこ/作
講談社　K020 イ

知識

「黒魔女さん」や「泣いちゃいそうだよ」シリーズでおなじみの青い鳥文庫が、どうやってみんなの元に届くのか知っていますか？
本を出すための計画からはじまり、作家さん・イラストレーターさん以外にも多くの人の手をへて、１冊の本になる。その流れを物語で追ってみましょう。

夏の魔法

ｼﾞｰﾝ･ﾊﾞｰｽﾞｵｰﾙ/著
小峰書店
K933 ハ

物語

しっかり者のロザリンド、けんかっ早いスカイ、夢見る芸術家のジェーン、恥ずかしがり屋のバティ。性格は全然違うけど、結束はかたいペンダーウィックの四姉妹。姉妹は夏休みをすごすために、アランデル邸へと向かいます。そこにあったのはキラキラまぶしい魔法と冒険でした。ひと夏の魔法に、あなたもかかってみませんか？

お金持ちになるにはどうするの？

内田正信/監修　　朝日新聞出版　　K330 オ

知識

「お金持ちになるには？」子どもから大人まで知りたい疑問です。まず身近な所から考えてみましょう。私たちの周りでお金がどのように行き交いしているのか調べてみれば、何かヒントがあるかも知れません。
それでも分からないことが出てきたら、この本を読んでみてはどうでしょう。今まで知らなかったお金の世界がわかります。

１０分で読める発明・発見をした人の伝記

塩谷京子/監修　　学研教育出版　　K402 シ

知識

アインシュタイン、糸川英夫、山中伸弥、マリー・キュリー。この人たちは現代に偉業を残した人物です。
では何をした人でしょうか？　名前は聞いたことがあっても、どんな人かよく知らないということはありますよね。
この本は教科書や新聞で目にする偉人の人生を、１０分で読めるようにぎゅっとまとめた伝記です。

煮干しの解剖教室

小林眞理子/文　　仮説社　　K487 コ

知識

煮干しを解剖してみませんか？
解剖してみると、この小さな魚から生きものの体と暮らしについて、いろいろなことが見えてきます。私たち人間とは大きさも姿もずいぶん違う生きものですが、似たところがあるかもしれません。
解剖したあとは、おいしくいただきましょうね！
身近な生き物から、たのしく学べる１冊です。

ぼく、ムシになっちゃった

ローレンス・デイヴィッド/文
デルフィーン・デュラーンド/絵
小峰書店　　E黒

物語

サンプソン少年の身におこった、まかふしぎな出来事です。それはある日の朝、目が覚めたらでかいムシになっていたのです。色は茶色、手が４つ、触覚もあるのです。あ～あ変わり果てた姿…。
さて、ムシになってしまったサンプソン少年は、どんな行動をとったのでしょうか？

ニコラといたずら天使

キャロライン　アダーソン/著
講談社　　K933 ア

物語

ニコラが飼っている子犬のジュンバグはいたずら好き。
ごみ箱で遊んだり、兄のミニカーを壊してしまったり。
でもニコラは、そんな元気なジュンバグが大好きでした。
しかし「悪いことをしていると地獄へ堕ちるぞ」と言われたニコラは、ジュンバグの事が心配でたまりません。
ジュンバグのためにニコラが行なった事とは…

１４番目の金魚

ジェニファー　L．ホルム/作　　小峰書店　　K949 ス

物語

エリーがある日出会った少年。なんとその正体は、エリーのおじいちゃんだった！
科学者であるおじいちゃんは不老不死の薬を開発し、少年の姿に若返ったのです。おじいちゃんと話すうちに科学に興味を持つようになったエリーは、過去の科学者の功績を調べますが、科学の発展がもたらすのは幸せばかりではないことを知って……